

2019年4月11日

都道府県庁 私学事務主管・義務教育・スポーツ振興部門  
都道府県 教育委員会  
市区町村 教育委員会  
都道府県 体育協会  
日本体育協会加盟団体  
児童養護協会  
担当者各位

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
事務局

## 2019年度 第13回スポーツ教材提供先募集のご案内

平素より、公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団の活動に、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団では、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的として、2019年4月12日～6月7日の期間、小学生以下の子どもたちを対象にスポーツ教材を活用いただける団体を募集し、抽選の上、合計120団体にサッカーボールまたはタグラグビーセットの無償提供を行います。

教材の活用を通して「子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになるような取り組み」を実現していただくことにより、スポーツが苦手な子どもたちがスポーツの楽しさを知ったり、幼少期から体を動かすことに興味を持ったりすることによって、体力・運動能力の向上やスポーツ機会の充実につながることを目指しています。

子どもたちがスポーツを楽しむ場において有効に活用いただきたく、保育園・幼稚園、小学校、特別支援学校、児童養護施設、各種スポーツ団体等へ広くご案内をお願いいたします。

(当案内は、保育園・幼稚園、小学校、特別支援学校、児童養護施設、各種スポーツ団体等へは直接送付しておりません。各団体にご案内いただく際には、添付の案内状をご利用ください。)

なお、「スポーツ教材の提供」についての詳細および申請方法につきましては、別紙の案内をご覧ください。

また、これまでの教材活用事例につきましては、当財団ホームページ(<http://www.ymfs.jp/>)にて紹介しておりますので、ご参照ください。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)事務局 (担当:濱北)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地

■Tel:0538-32-9827 ■Fax:0538-32-1112 ■Home page:<http://www.ymfs.jp/>

2019年4月11日

学校長・園長・スポーツ団体等代表者 各位

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
事務局

## 2019年度 第13回スポーツ教材提供先募集のご案内

平素より、公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団の活動に、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団では、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的として、2019年4月12日～6月7日の期間、小学生以下の子どもたちを対象にスポーツ教材を活用いただける団体を募集し、抽選の上、合計120団体にサッカーボールまたはタグラグビーセットの無償提供を行います。

教材の活用を通して「子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになるような取り組み」を実現していただくことにより、スポーツが苦手な子どもたちがスポーツの楽しさを知ったり、幼少期から体を動かすことに興味を持ったりすることによって、体力・運動能力の向上やスポーツ機会の充実につながることを目指しています。

子どもたちがスポーツを楽しむ場において有効に活用いただきたく、添付の募集案内をご覧の上お申し込みください。

以上、よろしくお願い致します。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)事務局 (担当:濱北)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地

■Tel:0538-32-9827 ■Fax:0538-32-1112 ■Home page:<http://www.ymfs.jp/>

2019年 4月 11日

2019年度「第13回 スポーツ教材の提供」についてのご案内  
～サッカーボール・タグラグビーセットを抽選で合計120団体に提供～

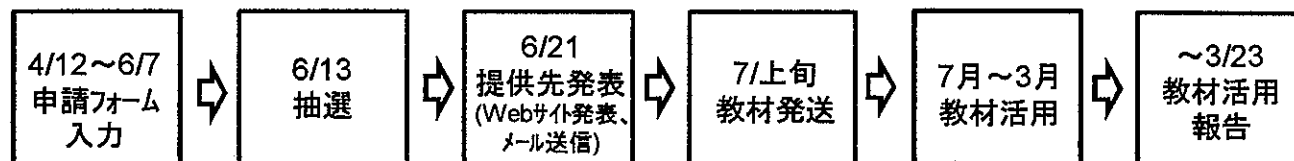
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的として、スポーツ教材の提供を行っており、今回で13回目を迎えます。子どもたちが楽しくスポーツに取り組む機会の充実に向けて有効に活用いただきたく、下記趣旨をご理解の上、専用の申請フォームよりお申し込みください。(http://www.ymfs.jp/)

< 記 >

募集要項

目的	身体の神経が急速に発達する幼少期に、体を動かすことの楽しさを知り好きになってもらうため、子どもたちが「体を動かすさまざまな活動」に参加するきっかけづくりとして、教材を提供し活用してもらう。
募集期間	2019年 4月 12日(金)～ 6月 7日(金)
対象団体	「子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになるような取り組み」を計画している 120 団体 ※小学生以下の児童・幼児が所属する団体(保育園・幼稚園・認定こども園、小学校、特別支援学校、児童養護施設、児童クラブ、教育委員会、体育協会、スポーツ少年団・クラブ・スクール等、スポーツに取り組む団体)
使用対象者	小学生以下の児童・幼児
提供教材 (1)(2)のどちらか	(1)サッカーボール 60 団体 (いずれかのサイズをお選びください) ・Adidas テルスター18 ルシアードソフト(3号軽量球) 5個 × 30 団体 ・Adidas テルスター18 ジュニア 290 (4号軽量球) 5個 × 30 団体 (2)タグラグビーセット 60 団体 ・ギルバート タグボール(4号球) 4個+ タグベルト(ジュニア) 20組 × 60 団体
申請方法	ホームページの「スポーツ教材申請フォーム」に入力の上申請 (http://www.ymfs.jp/) ※フォームに接続できない場合、申請用紙データをダウンロードの上メールまたは FAX にて申請ください。
選考方法	書類審査後、6月 13日(木)に第三者による厳正な抽選を行い、提供先を決定
結果通知	6月 21日(金)9時 ホームページに抽選結果掲載、提供先決定団体にはメールにて通知 ※すべての申請団体へはご連絡いたしませんので、お手数ですがホームページにてご確認ください。
教材発送	提供が決定した団体宛、7月上旬に発送予定
報告事項	提供決定団体は、2020年 3月 23日(月)までに教材活用実績を報告(写真の添付必須)

■申請から報告までのながれ



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当濱北)

www.ymfs.jp

## ■注意事項

※以下に該当する場合は申請できません。必ず下記項目をご理解の上、申請してください。

### ・使用者が中学生以上

小学生以下を中心とする活動において、中学生以上の参加者も含む場合や、特別支援学校の中・高等部を含む場合は申請可能です。

### ・申請時に「子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになる取り組み」の具体的計画がない

申請内容の「教材活用の計画内容(子どもたちがスポーツを楽しみ、好きになるための具体的な取組み計画)」の項目が、「備品の補充」「検討中」「未定」「抽選に当たってから考える」など内容が不明確な場合には、申請が無効となります。

### ・個人での申請

個人の家庭での使用、学校の保護者による申請等は受理できません。必ず申請団体の指導者が申請してください。

### ・同一団体からの複数申請

同一団体からの申請が複数あった場合は、最新(最後)の申請のみを受け付けます。

### ・昨年度、教材の提供を受けた団体からの同一教材への申請

できるだけ多くの団体・子どもたちにスポーツの機会を増やしていきたいため、昨年度同一種類のスポーツ教材の提供を受けた団体からの申請はご遠慮ください。

## ■確認事項

### ●メールアドレス入力時には、ご注意を！

・確実に連絡可能なメールアドレスを記入してください。

申請後の連絡は電子メールにて行います。E-mail アドレスが間違っていると、当選連絡メールをお送りできません。

・申請受理後は、確認メールが自動的に送信されます。

まれに、公立の学校・園とのメールのやり取りで、セキュリティ上メールが送受信できないことがあります。

申請後 2～3 日たってもメールが届かない場合には、事務局(0538-32-9827)までお問い合わせください。

### ●教材提供後は、活用報告の提出をお願いします！

教材が届いてから 2020 年 3 月 23 日までの期間の教材活用実績を報告していただきます。

報告の際、実施内容の記載と活用時の写真が必要となります。個人情報等支障のない範囲でご協力ください。

※これまでの活用事例については、当財団ホームページをご参照ください。(http://www.ymfs.jp/)

### ●取材のお願いをすることがあります。


教材の活用実績について取材のお願いをすることがあります。その際は、ご協力をお願いいたします。

### ●教材使用開始後の修理等は各団体で。

教材使用後の破損等に伴う修理や部品等の補充は、使用団体の責任でお願いします。

お届け時の未使用の状態での破損していた場合には取り換えますので、お知らせください。TEL:0538-32-9827

## 【参考】スポーツ教材活用事例紹介 (2017年度の提供先団体にて有効活用いただいている事例の一部を紹介)

<p>臼杵市立市浜小学校 (大分県臼杵市) タグラグビーセット</p>	<p>運動が得意な子だけが活躍するのではなく、全員が活躍することで、“運動が得意ではない子も運動を楽しみ好きになる”よう、タグラグビーの特性を生かした独自ルールやアイデアを取り入れています。</p>	
---	---	--